



◇第3回地域協議会定例会（9月29日）

(1) 地域自治区カルテについて、(2) 本郷地域自治区の課題について協議しました。

(1) については、総人口、高齢者数、高齢化率などの基本情報について、宮崎市全体と本郷地区の数値を比較しながら本郷地区の現状を確認し情報共有を図りました。

(2) については、委員への事前アンケートで地域の課題等を次の4項目に集約し、「地域拠点」、「地域福祉」、「防災」、「人材・団体」の各項目ごとに分けて活発な意見交換を行いました。

「地域拠点」では、実現性の高いプラン作りのための活動が必要だとの意見、「地域福祉」では、お助け会、子ども（地域）食堂、避難行動要支援者の対応についての意見が出されました。「防災」では、特別警報級の台風の予報により多くの避難がなされた後でもあり、避難の実情や避難所に関する問題もあげられました。

また、「人材・団体」では、組織同士の横のつながりが重要であること、今後に向けて人材発掘も必要であるという意見が出されました。



◇第4回地域協議会定例会（11月17日）

(1) 令和2年度宮崎市地域コミュニティ活動交付金事業計画の変更について、(2) 本郷地域自治区の課題について協議しました。

(1) については、本郷まちづくり推進委員会の甲斐会長から、①新規事業としてOA機器等購入費等積立事業を行うこと、②コロナ禍において実施が困難となった健康フェスタ事業の代わりに本郷地区防災啓発事業を行うこと、③防災事業の積立金を活用して、新たに国富小学校防災倉庫整備事業を行うことの3点について説明がありました。審議の結果、すべて承認されました。

(2) については、第3回地域協議会で出された地域の課題解決のため、地域協議会だけでは十分な議論が困難であり、専門委員会の中で深掘りしていく必要があるとの意見が出されました。「地域拠点」については既に「本郷拠点づくり検討チーム」という専門委員会がありますが、「地域福祉」など他の分野についても専門委員会設立の提案がなされ、本郷地域の課題解決に向けて専門委員会を新たに設置することが決議されました。

※地域協議会で出された意見、提案、方向性については裏面にまとめました。



地域拠点

地域協議会での 意見・提言



地域協議会

目指す方向性

- 実現性の高いプランの作成
- 実現に向けた活動の実績づくり

地域福祉

地域協議会での 意見・提言



地域協議会

目指す方向性



防災

- 最新の避難所情報が高齢者には伝わっていない
- 頑丈な家に何人か避難し、一人で不安ているよりも何人かて集まることで手助けもできる
- 何も持たずに避難した人がいた
- 消防車、防災無線のアナウンスが聞こえにくい

- 分散避難も必要
- 公民館を開放し住民を近くに避難させることも考えたらどうか
- 細かい避難所を準備する必要がある

自治公民館等 との連携して対応

自主避難所として協力して
いただける施設との連携

- 定員オーバーで避難所に入れない人がいたが、避難者の安全を確保するためにも教訓にしてほしい

行政で対応

特別警報級の災害が予測される場合は、十分な避難所を確保できるよう調整

自治会長への迅速な連絡体制の整備

まちづくり推進委員会 に協力依頼

まちづくり推進委員会に協力を依頼し、「きらり本郷」等で防災特集の作成を検討（本郷地区全世帯配布）

- 開設されるタイミング
- 開設避難所情報の確認方法
- 避難所に行く際の準備
- デジタル放送での確認方法の周知
- 共助の事例（近所で集まるなど）の紹介

人材・団体

高齢者もいろいろな経験をされている人も多く、退職後も元気な人などを活用し、次の人材が出てくるのではない

地域は自治会がベース

人材発掘

自治会対策

次の地域の代表を引き受けやすい環境づくりをどのように整えられるか

自治会未加入世帯への対策が必要

組織同士の 横のつながり

地域活動にも参加して多くの事業活動を知ってほしい

まちづくり推進委員募集月間等を設け、推進委員のやりがい等を伝え増員を図ってほしい

活動PR

各種団体組織の活動は地域住民にあまり知られていない

まちづくり 推進委員会

宮崎市の地域コミュニティ活動交付金の見直しをしてほしい